

【日本医科大学付属病院 がん化学療法レジメン】

«無断転載禁止»

レジメン番号： GAST-130

対象疾患	レジメン名称	コース期間	総コース数	適応	催吐リスク	根拠
HER2陽性 胃がん	Tmab+SP (Trastuzumab +S-1/CDDP)	21日間	規定なし	<input checked="" type="checkbox"/> 進行/再発 <input type="checkbox"/> 術後補助化学療法 <input type="checkbox"/> 術前補助化学療法 <input type="checkbox"/> 放射線併用化学療法 <input type="checkbox"/> その他	高	Br J Cancer 110: 1163-8, 2014 Cancer Chemother Pharmacol 76: 397-408, 2015

	薬品名	投与量	投与経路	投与時間	Day																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
①	トラスツズマブ 生理食塩液	8mg/kg 250mL	点滴静注	初回 90分	↓																					
	トラスツズマブ 生理食塩液	6mg/kg 100mL	点滴静注	2回目以 降 30分																						
②	デキサート パロノセトロン アロカリス	9.9mg 0.75mg/50mL 235mg	点滴静注	30分	↓																					
③	硫酸Mg フィジオ70	8mL 500mL	点滴静注	60分	↓																					
④	マンニトール	300mL	点滴静注	60分	↓																					
⑤	シスプラチニン 生理食塩液	60mg/m <sup>2</sup> 250mL	点滴静注	60分	↓																					
⑥	フィジオ70	500mL	点滴静注	60分	↓																					
⑥	ティーエスワン	80mg/m <sup>2</sup> /日	内服	1日2回に 分けて 朝夕食後	↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓↓																					

＜注意事項/備考＞

- ✓ 催吐リスク：高：NK1受容体拮抗薬+5HT3拮抗薬+DEX
- ✓ S-1投与量：BSA<1.25m<sup>2</sup>：80mg/day、1.25≤BSA≤1.5m<sup>2</sup>：100mg/day、BSA>1.5m<sup>2</sup>：120mg/day
- ✓ S-1：他のフッ化ピリミジン系薬剤と併用禁忌（前後7日間以上の間隔を空ける） / 空腹時の内服は避ける（抗腫瘍効果減弱の可能性）
- ✓ Tmab：初回のみ8mg/kgを90分かけて投与、2回目以降は6mg/kgを30分かけて投与
- ✓ 心障害（Tmab）：トラスツズマブ投与中は定期的な心エコー検査などを用いて心機能評価を

✓ インフュージョンリアクション (Tmab) : 投与中/後に悪寒、発熱、呼吸困難などの症状が生じる可能性あり。状況に応じて抗ヒスタミン薬や解熱鎮痛薬などの投与を